

指定管理施設事業評価票(令和3年度分)

1. 施設所管課 地域振興部 栗山行政センター

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市繁殖牛集中管理センター									
	所在地	日光市上栗山838番地7									
指定管理者	名称	農事組合法人 栗山和牛改良組合									
	代表者名	代表理事 山口 聖治									
	住所	日光市上栗山838番地7									
指定期間		令和2年4月1日		～	令和7年4月1日		5		年間		
選定方法		非公募			評価実施年		5		年間のうち	2	年目
施設設置目的		日光市繁殖牛集中管理センター条例(平成29年日光市条例第41号。))に定める施設で、繁殖牛の集中飼育管理及び肉用牛群の改良増殖を行うことで、栗山地区内の肉用牛の生産振興を図ることを目的としています。									
主な実施事業		・繁殖牛及び子牛の飼養管理 ・繁殖牛への人工授精 ・繁殖牛の出産管理 ・子牛の登記に関する業務 ・肉用牛の生産振興に関する情報収集、調査研究に関する事業									

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	繁殖牛預託頭数	頭	60	58	65	69						
b												
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計 A		16,153,920	17,966,920	0	0	0
	指定管理料					
	利用料収入 C	13,944,000	15,645,000			
	自主事業収入	2,209,920	2,321,920			
	その他					
支出計 B		14,355,152	17,291,243	0	0	0
	指定事業費	14,355,152	17,291,243			
	内人件費 D	1,730,050	1,752,000			
	内外部委託費 E					
	自主事業費					
事業収支 A－B		1,798,768	675,677	0	0	0
人件費率 D／B		12.05%	10.13%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B		0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
③ 安定性	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		概ね協定書に基づき計画どおり事業を実施することができた。		
		繁殖牛の預託頭数について目標値を上回り、子牛の販売頭数についても7頭増加することができた。		
		(所管課評価)		
		預託頭数も増加し子牛の販売頭数も増え順調に運営できている。今後も計画的に子牛の増産に取り組んでほしい。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。